

あいちロボット産業クラスター推進協議会
**医療・介護等分野ロボット実用化
ワーキンググループについて**

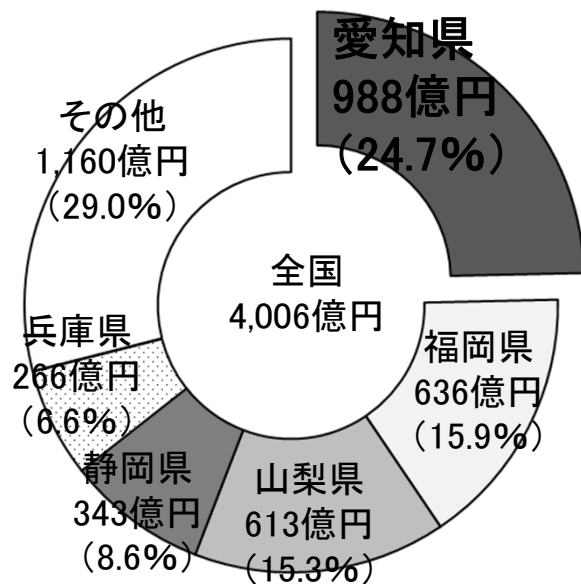
**愛知県産業労働部産業振興課
次世代産業室**



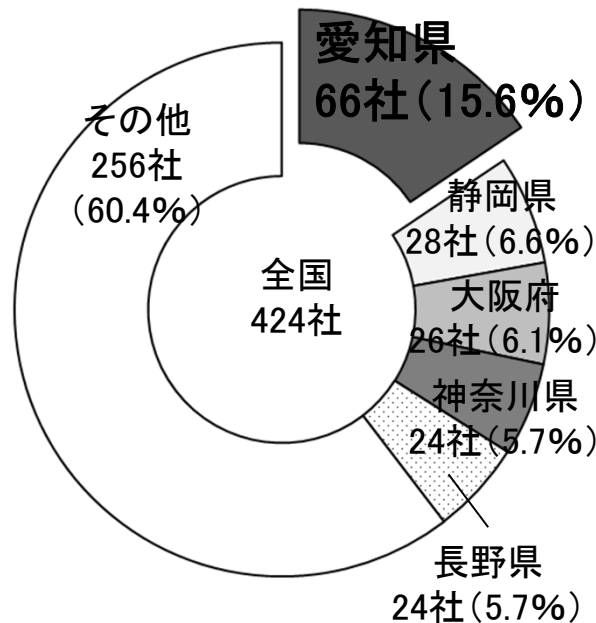
1. 愛知県のロボット産業の現状

ロボット製造業の製造品出荷額等、事業所数、従業者数は、いずれも全国1位。

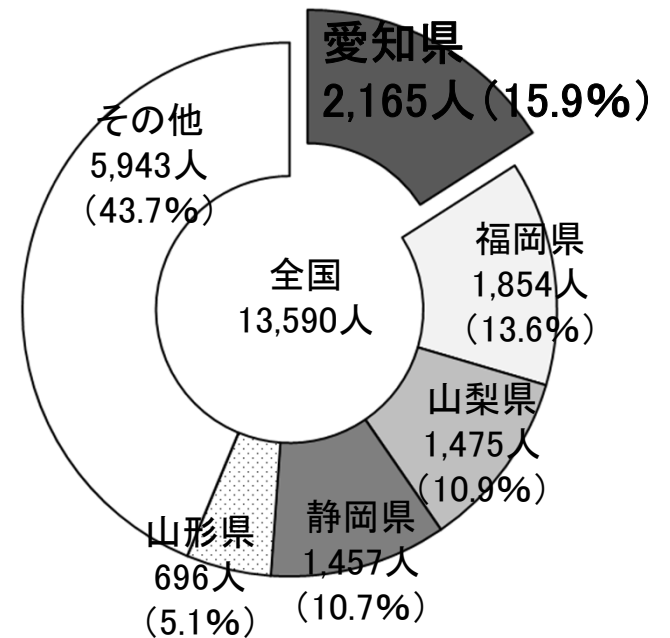
製造品出荷額等



事業所数



従業者数



出所:平成24年工業統計調査

2. あいちロボット産業クラスター推進協議会

目的	産学行政が連携して、ロボットの新技术・新製品を創出し続け、世界に誇れるロボット産業拠点の形成を目指す。	
委員等	<p>大村 秀章 井内 摂男 石川 達也 梅崎 太造 岡 博行 岡田 美智男 岡谷 篤一 河村 たかし 児玉 誠吾 才藤 栄一 塩谷 國明 三田 敏雄 南 善勝 山田 陽滋 〈オブザーバー〉 岡本 浩二 鳥羽 研二 水間 史人 八鍬 隆</p>	<p>愛知県知事 <会長> 中部経済産業局長 トヨタ自動車(株) 常務理事 名古屋工業大学大学院 教授 (株)デンソーウェーブ 常務執行役員 豊橋技術科学大学 教授 名古屋商工会議所 会頭 名古屋市長 富士機械製造(株) 取締役執行役員 藤田保健衛生大学 副学長 (株)スター精機 代表取締役社長 (一社)中部経済連合会 会長 (株)安川電機 執行役員ロボット事業部長 名古屋大学大学院 教授</p>
設立日	平成26年11月18日	



3. あいちロボット産業クラスター推進協議会 会員状況

対象者	本協議会の趣旨や活動に賛同する以下の機関等。 (1) ロボット(ロボットの部品や加工、技術を含む)を開発している又は開発することを目指す企業や大学、研究機関等。 (2) ロボットを利用している又は利用することに関心がある企業や団体等。 (3) ロボットの取組に関わる企業等を支援する団体等。		
会員状況	173社・団体 <平成27年3月23日現在>		
内訳	① 開発側	60	(ロボット製造業、ロボット・自動車等部品製造業、IT企業等)
	② 利用側	39	(医療機関、介護施設、建設業、飲食業、金属加工業等)
	③ 開発・利用側	35	(自動車等部品製造業、機械製造業、金属加工業、IT企業等)
	④ 支援機関	39	(産業支援機関、金融機関、行政、商工会議所等)

4. ワーキンググループ(WG)

協議会有識者の意見や会員のニーズ等を踏まえ、推進するロボットごとにWGを設立。WGで推進するロボットの開発、実用化、普及に向けた課題に対し、開発側と利用側が連携して取り組んでいく。

	医療・介護等分野 ロボット実用化WG	製造・物流等分野 ロボット導入実証WG	無人飛行ロボット 活用WG
目的	医療・介護現場や生活の場で活用するロボットの開発・実用化を促進。	国等の競争的資金の活用を視野に入れ、製造や物流等の現場へのロボット導入実証を促進。	無人飛行ロボットの実証実験の実施及び新たなビジネスモデル創出を促進。
座長	国立長寿医療研究センター 鳥羽研二総長	名古屋工業大学大学院 梅崎太造教授	大同大学工学部 橋口宏衛講師
主なメンバー	医療・介護ロボット開発企業、医療・介護施設等	産業用ロボット開発企業、ロボット導入企業等	無人飛行ロボット開発・利用企業、自治体等
開催頻度	いずれも年3回程度開催		
第1回	3月25日(水)	2月25日(水)	4月24日(金)

5. 医療・介護等分野ロボット実用化WG

目的	医療・介護現場や生活の場で活用するロボットに関し、開発や実用化の促進を図る。
座長	独立行政法人国立長寿医療研究センター 総長 鳥羽研二 氏
主な 取組内容 (案)	<p>平成27年8月頃に開設する「あいちサービスロボット実用化支援センター(仮称)※」を拠点として以下の取組を実施。</p> <p>※ 詳細は後ほど</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療・介護ロボットの先進事例やユーザーニーズの紹介(2) 開発・導入の課題・対策に係る意見交換(3) 医療・介護ロボットの実証評価や導入を行っている施設の見学(4) 新たな医療・介護ロボットの開発に向けたコンソーシアム編成(5) 開発側と利用側等とのマッチング支援(マッチングシートの活用等)(6) 【介護施設向け】介護ロボットの実証評価実施に係る研修

6. 平成27年度 愛知県ロボット産業振興施策(1)

企業活動の課題に合わせたきめ細かい支援施策を実施。

参入検討支援	・「ロボット産業参入促進セミナー」の開催
マッチング支援	・「あいちロボット産業クラスター推進協議会」の会員サポート
企画・設計支援	・「ロボット開発リスクアセスメント研修会」の開催 ・国際安全規格認証取得に向けたセミナーの開催及び専門家派遣の実施
研究開発支援	・「新あいち創造研究開発補助金」による研究開発・実証実験支援
実証実験支援	・「あいちサービスロボット実用化支援センター(仮称)」による支援 ・「愛・地球博記念公園」での実証実験支援
普及促進	・各種展示会への出展支援

7. 平成27年度 愛知県ロボット産業振興施策(2)

「新あいち創造研究開発補助金」による研究開発・実証実験支援

今後の成長が見込まれる分野(ロボットをはじめ、次世代自動車や航空宇宙等)において、企業等が行う研究開発・実証実験を支援する。

- 公募期間 平成27年3月23日(月)～4月17日(金)
- 補助率 中小企業は2/3以内、大企業及び市町村は1/2以内
- 補助限度額 中小企業及び市町村は1億円以内、大企業は2億円以内

「あいちサービスロボット実用化支援センター(仮称)」による支援

(独)国立長寿医療研究センターと連携し、「あいちサービスロボット実用化支援センター(仮称)」を設置し、サービスロボットの実用化に向け、モノづくり企業やユーザーの支援を行う。

※ 詳細は後ほど

8. 平成27年度 愛知県ロボット産業振興施策(3)

展示会への出展支援

以下の展示会に対し、「あいちロボット産業クラスター推進協議会」としてブースを確保する予定。
出展する意向があれば、事務局へ連絡して下さい。

会期	開催場所	前回 来場者数	募集点数・小間数	協議会会員 出展者負担金
① ウェルフェア2015（福祉健康関連の展示会）				
5/21(木)～23(土)	ポートメッセなごや	7万人	2～4点	無料
② 国際福祉機器展2015（介護福祉機器の展示商談会）				
10/7(水)～9(金)	東京ビッグサイト	12万人	6小間	162,000円/小間※1
③ メカトロテックジャパン2015（工作機械の展示商談会）				
10/21(水)～24(土)	ポートメッセなごや	9万人	8～10点	無料
④ あいちロボットフェスタ（医療・介護・生活支援ロボットの展示会）				
11/28(土)～29(日)	あいち健康プラザ	—	10～20小間	無料
⑤ 2015国際ロボット展（ロボット関連製品・技術の展示会）				
12/2(水)～5(土)	東京ビッグサイト	10.4万人	10小間	172,800円/小間※2

※1:通常の出展料金 324,000円

※2:通常の出展料金 345,600円

9. 「国家戦略特別区域」への提案

平成26年8月に「国家戦略特別区域」、平成27年2月に「近未来技術実証特区」へ提案。

ロボットや医療関連の提案概要

高度な先端医療の提供【保険外併用】

- ・医療水準の高い国で承認されている医薬品等について、臨床研究中核病院等と同水準の国際医療拠点において、国内未承認の医薬品等の保険外併用の希望がある場合に、速やかに評価を開始できる仕組みを構築する。

近未来技術実証のための制度整備

リハビリ遠隔医療・ロボット実証プロジェクト

- ・医療機関と患者の居宅間を情報通信でつなぎ、医師の診療に基づくりハビリ遠隔医療の実証を行う。
- ・リハビリ支援ロボットの早期市場化を目指し、企業が行う臨床研究データを法に基づく治験データとして活用することができる実証を行う。

無人飛行ロボット実証プロジェクト

- ・無人飛行ロボット利用時の、電波法における周波数制限や航空法における飛行高度制限等の規制を緩和し、火災消火活動や害獣捕獲支援など、利用可能性の拡大に向けた実証を行う。